



令和7年度 第72回 秩父美術展 開催要項

- 1 主 催 秩父美術展運営委員会
(秩父市・秩父美術懇話会・秩父郡町村会)
- 2 会 期 令和7年10月13日(月・祝)～10月19日(日) 午前9時～午後5時
(※最終日は午後3時まで)
- 3 会 場 秩父市歴史文化伝承館
(住所：埼玉県秩父市熊木町8-15)
- 4 出品種目 絵画の部 ・ 書の部 ・ 写真の部 ・ 工芸の部 ・ 彫刻の部
- 5 応募者 一般応募者は15歳以上の秩父郡市在住、在勤、在学者とする。
ただし、中学生以下は除く。
- 6 出品点数 1人2点以内 ※秩父郡市外の公募展に入選した作品は出品できません。

7 出品要領

部 別	規 格 制 限
絵 画	日本画・洋画とも10号(53.0cm×33.3cm)以上F50号(116.7cm×91.0cm)以内。 ただし、運営委員は4号以上10号以内。※版画はその限りではない。(下限を設けない)
書	表装仕上がり 縦170cm×横51cm以内。(縦のみ) 縦160cm×横90cm以内。(縦横自由) 縦91cm×横91cm以内。※軸物は不可とする。
写 真	単写真は展示額寸法62cm×73cm(±1cm)の木製パネル貼り又は額装とする。 作品サイズは問わない。 組写真は1つのテーマを展示寸法60cm×90cm(±1cm)の木製パネル貼りとする。
工 芸	壁面作品は120cm×120cm以内。 立体は70cm×70cm×70cm以内。
彫 刻	180cm×50cm×50cm以内。重量は30kg以内。

○作品は額装し、ただちに展示できるようにすること。

※書・写真の部ともアクリルは使用可、ガラスは使用不可。ただし、書の部の篆刻はこの限りではない。

※絵画の部は30号以上はアクリルは使用可、ガラスは使用不可。

○出品票は作品毎に作品の裏側(原則として右上)に貼付すること。

○受領証・出品申込書・出品票は必ず正確に記入すること。

○出品料 1点1,500円(作品搬入の際、受付にて運営委員会に納入すること。)

なお、高校生等(生年月日が平成19年4月2日から平成22年4月1日までの方)は無料とする。(生年月日が確認できるものを持参すること。)

8 作品搬入搬出

- 搬入 令和7年10月12日(日)午前10時から正午までに、会場へ直接搬入すること。
 - 搬出 令和7年10月19日(日)午後3時から午後4時までに預り証持参の上、会場で受取ること。
 - 搬入搬出に要する経費は一切応募者負担とする。
- ※搬入搬出時は大変混雑しますので、駐車場や会場等でトラブルなど無いようご協力ください。

9 鑑 査 査

応募作品については鑑査及び審査を行い、入選決定のうえ展示する。

10 鑑査の結果及び陳列

- 鑑査及び審査の結果についての異議を受理しない。
- 美術展に作品を陳列された出品者は、陳列作品の位置、配列等に対して異議を申し立てることはできない。

11 審 査 員

絵画の部	浅見 文紀	井上 伝蔵	倉林 愛二郎	小菅 光夫	橋本 長治	青葉 信一
	新井 力也	小田 昇	小林 泰久	強矢 康夫	関河 英幸	高田 繁樹
	原島 達明	本橋 八郎				
書 の 部	田島 青谷	田端 香峰	富田 静流	窪田 阜月	今井 秀芳	町田 武山
	山口 石水	町田 曠道	加藤 葉月	町田 景雲	彦久保 孤峰	高橋 孤嶺
	高橋 清心	彦久保 静子	武藤 耕石			
写真の部	豊田 弘	笠原 将	齋藤 紀一	小林 千鶴	逸見 照三	岡部 蝶子
	山口 秀明	平沼 和子				
工芸の部	西 由三	北 浩	小泉 ムツ子	青山 米子	新井 映子	服部 春江
彫刻の部	西 由三					

12 褒 賞

審査の結果、成績優秀なものに次の賞を贈る。

ただし、極端に出品点数の少ない場合は別に定める。

- 特 選
 - ・埼玉県知事賞
 - ・秩父市長賞
 - ・秩父市議会議長賞
 - ・秩父市教育長賞
 - ・秩父郡町村会長賞
 - ・秩父美術懇話会長賞
 - ・秩父美術懇話会賞

○秀 作

○秩父美術展運営委員会賞

○表彰式 令和7年10月19日(日)午後1時から
秩父市歴史文化伝承館 1階 研修室にて行う

13 そ の 他

出品物は努めて保護するが、正常な管理状態のもとにおいて生じた事故(損傷・紛失・盗難・展示による退色等)については、その責任を負わない。

《問い合わせ》 〒368-8686 秩父市熊木町8-15
第72回 秩父美術展運営委員会事務局(秩父市 市民部 生涯学習課内)
(電 話) 0494-22-0420
(FAX) 0494-24-0430